



### 温かい心との触れあいが

—福祉を語る富士市婦人のつどい—



△鷹岡中学校生活学級生と協力して

福祉の風土づくり、町づくりの担い手は、「婦人である」ということから、この会が生まれ12年目を迎えます。

月一度の定例会のほか、障害者・単親家庭と児童・高齢者・精神障害者・地域の五つの福祉について、分かれて勉強会を続けています。また、昭和57年より年1回「富士市の婦人はいま！」をテーマに富士集会を開催し、みんなで語り・考え・学び合い、市政への問題提起も行ってきました。昨年の10月には大勢の方々の協力を得て「福祉を語る婦人のつどい全国集会」が富士市で開催され、触れ合いの和と輪が広がりました。

会では赤い羽根共同募金、歳末助け合い街頭募金、福祉まつりなどにボランティアとして参加していますが、多くの温かい心に触れることができ、感動を新たにしています。2月2日には、第7回富士集会が開かれます。誰もが安心して暮らせる町を目指してともに語り、考えてみませんか。御参加をお待ちしています。

問い合わせ 川島千津子 ☎52-5965

窓越しにそっと庭やベランダを見ると、メジロやヒヨドリなどの野鳥がえさを探しに来ていることがあります。また、半分に切ったミカンなどを木の枝に刺しておくことで、野鳥を呼び寄せることもできます。窓越しのバードウォッチング、あなたも試してみませんか。

### こちら編集室

## 富士の今と昔 ④5



④ 頑丈になってもう大丈夫

⑤ 松を切って補強したが、その下流で切れた(現在の新幹線鉄橋北側付近)



明治四十三年八月の富士川水害の写真です。そのときの様子

をおじいさんから聞いた落合武さん(宮下)のお話。「一週間大雨が降り続いて富士川の水がぐんぐん増えていった。堤防が切れそうだということで見張りをしていたが、八月十日の明け方に切れた。見張りが「切れるぞー」と部落を回ったので流される人もなく、みんな我が身一つで宮下の山神社へ逃げたそう。今じゃあ考えられないね。」



吉原小学校一年生のお友だちの作品です。運動場の西側にある「仲よし山」で元気に遊んでいるようです。



ぼくは、仲よし山のトンネルの前を走っているよ。だいたいクレヨンでぬったけど、お空とか、はじめて絵の具を使ったところもあるよ。



かつまたたつお



すべり台のそばの坂をよいこらしよとのぼっているのがわたしです。わたしたちは、仲よし山で遊ぶのが、大好きです。



かつまたゆうこ